

7日 火曜

列王 I



14:1 このころ、ヤロブアムの子アビヤが病気になるので、

14:2 ヤロブアムは妻に言った。「さあ、変装し、ヤロブアムの妻だと分からないようにしてシロへ行ってくれ。そこには、私がこの民の王となることを私に告げた預言者アヒヤがいる。

14:3 パン十個と菓子数個、それに蜜の瓶を持って彼のところへ行ってくれ。彼は子どもがどうなるか教えてくれるだろう。」

14:4 ヤロブアムの妻は言われたとおりにして、シロへ出かけ、アヒヤの家に行ったが、アヒヤは年をとって目がこわばり、見る事ができなかった。

14:5 しかし、【主】はアヒヤに言われた。「今、ヤロブアムの妻が来て、子どものことをあなたに尋ねようとしている。その子が病気だからだ。あなたは、これこれのことを彼女に告げなければならない。入って来る時には、彼女はほかの女のようなふりをしている。」

14:6 アヒヤは、戸口に入って来る彼女の足音を聞いて言った。「入りなさい、ヤロブアムの妻よ。なぜ、ほかの女のようなふりをしているのですか。私はあなたに厳しいことを伝えなければなりません。

14:7 行って、ヤロブアムに言いなさい。イスラエルの神、【主】はこう言われる。『わたしは民の中からあなたを高く上げ、わたしの民イスラエルを治める君主とし、

14:8 ダビデの家から王国を引き裂いて、あなたに与えた。しかしあなたは、わたしのしもべダビデのようではなかった。ダビデはわた

しの命令を守り、心を尽くしてわたしに従い、ただ、わたしの目にかなうことだけを行った。

14:9 ところがあなたは、これまでのだれよりも悪いことをした。行って自分のためにほかの神々や鑄物の像を造り、わたしの怒りを引き起こし、わたしをあなたのうしろに捨て去った。

14:10 だから、見よ、わたしはヤロブアムの家にわざわいをもたらす。イスラエルの中の、ヤロブアムに属する小童から奴隷や自由な者に至るまで絶ち滅ぼし、人が糞を残らず焼き去るように、ヤロブアムの家の跡を除き去る。

14:11 ヤロブアムに属する者は、町で死ぬなら犬がこれを食らい、野で死ぬなら空の鳥がこれを食らう。』【主】が、こう言われたのです。

14:12 さあ、家に帰りなさい。あなたの足が町に入るとき、その子は死にます。

14:13 全イスラエルがその子のために悼み悲しんで葬るでしょう。ヤロブアムの家の者で墓に葬られるのは、彼だけです。ヤロブアムの家の中で、彼だけに、イスラエルの神、【主】のみこころにかなうことがあったからです。

14:14 【主】はご自分のためにイスラエルの上に一人の王を起こされます。彼はその日、いや、今にもヤロブアムの家を絶ち滅ぼします。

14:15 【主】はイスラエルを打って、水に揺らぐ葦のようにし、彼らの先祖に与えられたこの良い地の面からイスラエルを引き抜き、あの大河の向こうに散らされるでしょう。彼らがアシェラ像を造って【主】の怒

りを引き起こしたからです。

14:16 ヤロブアムが自分で犯した罪と、彼がイスラエルに犯させた罪のゆえに、主はイスラエルを捨てられるのです。」

14:17 ヤロブアムの妻は立ち去って、ティルツァに着いた。彼女が家の敷居をまたいだとき、その子は死んだ。

14:18 人々はその子を葬り、全イスラエルは彼のために悼み悲しんだ。【主】がそのしもべ、預言者アヒヤによって語られたことばのとおりであった。

14:19 ヤロブアムについてのその他の事柄、彼がいかに戦い、いかに治めたかは、『イスラエルの王の歴代誌』にまさしく記されている。

14:20 ヤロブアムが王であった期間は二十二年であった。彼は先祖とともに眠りにつき、その子ナダブが代わって王となった。

ヤロブアムの王位後期の様子です。彼は偶像を祭りつつも、実は主を信じているという姿勢で、それを知られたくないために、妃を変装させました。

この際、心は主を信じているというような言い訳は成り立ちません。彼の偶像に対する態度が、民に混乱と不信を与えたからです。

信じているように行動するのが、聖書のいう信仰です。私たちはどうでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？